

提出日を記載してください。

畜舎建築利用計画の認定申請書

令和4年4月1日

都道府県知事 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
申請者の連絡先
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第3条第1項の規定により、畜舎建築利用計画の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は法令等に相違ありません。

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

申請者が2以上のときは、代表となる申請者について記載し、別紙に他の申請者について必要な事項を記載して添えてください。代理者によって申請を行う場合は委任状を添付してください。

※ 虚偽の記載により認定を受けた場合は、認定の取消しや罰則の対象となるため、注意してください。

畜舎建築利用計画

1. 申請者の概要

(1) 氏名又は名称及び法人にあつては、その代表者の氏名： 農水 太郎

(2) 住所又は主たる事務所の所在地： 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

(3) 連絡先： 01-234-5678 ○○○○@maff.go.jp

電話番号及びメールアドレス
を記載してください

2. 畜舎等の概要

(1) 数及び種類

①申請に係る畜舎等の数： 3

②申請に係る畜舎等の種類

・番号： 1

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

・番号： 2

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

・番号： 3

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

③申請に係る畜舎等の構造

・番号： 1

木造 一部 造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

・番号： 2

鉄骨造 一部 造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

・番号： 3

鉄骨造 一部 造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

畜舎等が2以上のときは、畜舎等ごとに通し番号を付したうえで、記入欄を追加して畜舎等ごとに記載してください。また、第2番目以降の畜舎等について別紙に必要な事項を記載して添付する方法でも結構です。(以下、同様)

(2) 工事施工地又は所在地： 東京都千代田区霞が関1丁目1番1

都市計画区域内（市街化区域及び用途地域外）

準都市計画区域内（用途地域外）

都市計画区域及び準都市計画区域外

畜舎等の敷地が2以上の区域にわたる場合においては、当該敷地の過半の属する区域について記入してください。

(3) 規模及び間取り

- ①番号： 1
②高さ： 10 m
③床面積：(申請部分 3,500 m²) (申請以外の部分 m²) (合計 3,500 m²)
④間取り 居住のための居室を有しない。

畜舎等の最高の高さを記載してください。

- ①番号： 2
②高さ： 8 m
③床面積：(申請部分 1,500 m²) (申請以外の部分 m²) (合計 1,500 m²)
④間取り 居住のための居室を有しない。

居住のための居室とは、居間、寝室、仮眠室等をいいます。

- ①番号： 3
②高さ： 5 m
③床面積：(申請部分 300 m²) (申請以外の部分 m²) (合計 300 m²)
④間取り 居住のための居室を有しない。

3. 設計者等に関する事項

(1) 設計者

①代表となる設計者

- イ. 資格： (一級) 建築士 (国土交通大臣) 登録第 111111 号
ロ. 氏名： 設計 ユウタ
ハ. 建築士事務所名： (一級) 建築士事務所 (東京都) 知事登録第 222 号
ニ. 所在地： 東京都千代田区霞が関1丁目1番2号 (株) 東京建築設計事務所
ホ. 連絡先： 01-234-5678
ヘ. 作成した設計図書： すべて

設計者又は工事監理者が建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ代理者、設計者又は工事監理者の住所を書いてください。

建築士事務所名を欄に書き切れない場合は、余白に書いてください。

②その他の設計者

- イ. 資格： () 建築士 () 登録第 号
ロ. 氏名：
ハ. 建築士事務所名： () 建築士事務所 () 知事登録第 号
ニ. 所在地：
ホ. 連絡先：
ヘ. 作成した設計図書：

工事監理者又は工事施工者が未定の場合は、決まった後、速やかに工事着手前に様式第8号(軽微な変更に係る届出書)により届け出てください。

(2) 工事監理者

①代表となる工事監理者

- イ. 資格： (一級) 建築士 (東京都知事) 登録第 333333 号

- ロ. 氏名： 工事 マコト
 ハ. 建築士事務所名： (一級) 建築士事務所 (東京都) 知事登録第 444 号
 ニ. 所在地： 東京都千代田区霞が関1丁目1番3号 (株) 農水建築事務所
 ホ. 連絡先： 01-234-5678
 ヘ. 工事と照合する設計図書： すべて

②その他の工事監理者

- イ. 資格： () 建築士 () 登録第 号
 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

工事施工者が2以上の時は、代表となる工事施工者について記載し、記入欄を追加して記載するか、別紙に必要な事項を記載して添えてください。

畜舎等の敷地が存する都市計画区域、準都市計画区域、防火地域及び準防火地域以外の区域、地域、地区又は街区を記載してください。なお、畜舎等の敷地が2以上の区域、地域、地区又は街区にわたる場合は、それぞれの区域、地域、地区又は街区を記載してください。(例：建築基準法第22条指定区域、景観地区、〇〇地区計画地区等)

! 重要
 項目4は床面積が3,000㎡を超える畜舎等に係る申請の場合のみ、記載してください。

- 設計図書：
 (3) 工事施工者
 イ. 氏名： 施工 タカシ
 業の許可 (東京都知事) 第 (般-1)
 東京都千代田区霞が関1丁目1番4号
 01-234-5678

4. 畜舎等の敷地、構造及び設備に関する事項 (畜舎等に記載すること。)

(1) 畜舎等及び畜舎等の敷地に関する事項

①区域、地域、地区又は街区 (都市計画区域、準都市計画区域、防火地域、準防火地域以外) :

②道路

- イ. 幅員： 4.000 m
 ロ. 敷地と接している部分の長さ： 8.000 m

③敷地面積

- イ. 敷地面積： 9,000 ㎡
 ロ. 第45条第1項の規定による畜舎等の建蔽率： 60 %
 ハ. 敷地に建築可能な建築面積を敷地面積で除した数値： 60 %

畜舎等の敷地が2m以上接している道路のうち最も幅員の大きなものについて記載してください。

規則第45条第2項に該当する場合には、同項の規定に基づき定められる建蔽率を記載してください。

③「ロ」、
 「ハ」及び④
 「ロ」は百分率を用いてください。

④建築面積

- イ. 建築面積： (申請部分 5,300 ㎡) (申請以外の部分 ㎡) (合計 5,300 ㎡)
 ロ. 建蔽率： 58.9 %

⑤認定等：

⑥備考：

- ・畜舎等及びその敷地に関して許可・認定等を受けた場合には、根拠となる法令及びその条項、当該許可・認定等を受けた日付について⑤に記載するか、別紙に記載して添えてください。
- ・規則第46条第4項により同条第1項から第3項までの規定が適用されない畜舎等については、その旨を⑥に記載してください。

(2) 畜舎等別の構造及び設備の概要

①番号： 1

②建築設備の種類

- 電気設備 ガス設備 給水設備 排水設備 換気設備 暖房設備
冷房設備 消火設備 排煙設備 汚物処理の設備

③屋根： ガルバリウム鋼板

④外壁： ガルバリウム鋼板

⑤軒裏： ガルバリウム鋼板

⑥便所の種類 水洗 くみ取り

⑦第19条又は第20条の規定の適用

- 第19条本文の規定に該当する畜舎等
第20条ただし書の規定に該当する畜舎等

⑧主要構造部が耐火構造等に該当する場合

- 耐火構造
建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第108条の3第1項第1号イ及びロに掲げる基準に適合する構造
準耐火構造
準耐火構造と同等の準耐火性能を有する構造（建築基準法施行令第109条の3第1号に掲げる基準に適合する主要構造部の構造）
準耐火構造と同等の準耐火性能を有する構造（建築基準法施行令第109条の3第2号に掲げる基準に適合する主要構造部）

その他

⑨第26条の規定の適用

- 第26条第1号に掲げる畜舎等
第26条第2号に掲げる畜舎等
第26条第3号に掲げる畜舎等
第26条第4号に掲げる畜舎等
第26条第5号に掲げる畜舎等
防火地域 準防火地域
第26条第6号に掲げる畜舎等

⑩備考：

(3) 畜舎等の独立部分別概要

①番号： 1

②高さ： 10 m

該当するチェックボックスに✓マークを記入し、別紙にその概要を記載して添えてください。ただし、当該建築設備が規則第69条に掲げる規定のうち、特定の規定に適合していることを証する書面を添える場合には、当該規定に係る内容を概要として記載する必要はありません。

③から⑤までの事項については、別紙に明示して添付すれば記載する必要はありません。

規則第19条本文又は第20条ただし書の規定を受ける場合に✓マークを記入してください。

第26条第5号の規定に該当する畜舎等である場合は、当該畜舎等の敷地が属する地域について、該当するチェックボックスに✓マークを記入してください。なお、畜舎等の敷地が2以上の地域又にはわたる時は、それぞれの地域について記入してください。

⑨までに書き表せない事項で特に審査を受けようとする事項は、⑩に記載するか、別紙に記載して添えてください。

申請に係る畜舎等（畜舎等の2以上の部分がエキスパンションジョイントその他の相互に応力を伝えない構造方法のみで接している場合においては当該畜舎等の部分。）ごとに記載してください。

⑤までに書き表せない事項で特に審査を受けようとする事項は、⑥に記載するか、別紙に記載して添えてください。

床面積： 3,500 m²
 構造： 木造 一部 造
 ⑤ 構造計算に用いたプログラムの名称：〇〇プログラム
 ⑥備考：

構造計算に用いたプログラムが特定できるように記載してください。

以降、様式に記載の内容をよく読んでうえて✓マークを記入してください。

5. 畜舎等の利用の方法に関する事項

(1) 番号： 1

(2) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

午前零時から午前四時まで及び午後十時から午前零時までの場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。

(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理給与及び家畜の観察)	
滞在人数	4 人	4 人	0 人	3 人
滞在時間	3 時間/人	2 時間/人	0 時間/人	2 時間/人
延べ滞在時間	12 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合計				26 時間

！重要

B構造畜舎等の場合に記載してください。

(A構造畜舎等の場合は不要。)

- ・実際に畜舎等で行う予定の作業時間及び作業人数を記載してください。
- ・延べ滞在時間：滞在人数×滞在時間
- ・合計：延べ滞在時間の合計

通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下とする。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000m ² 以下		8時間
<input type="checkbox"/> 1,000m ² 超2,000m ² 以下		
<input type="checkbox"/> 2,000m ² 超3,000m ² 以下		
<input checked="" type="checkbox"/> 3,000m ² 超		

表の畜舎等の該当する床面積に✓マークを記入し、最大滞在者数及び延べ滞在時間の規定を満たしていることを確認したうえで、✓マークを記入してください。

(3) 避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置しない。

2以上の避難口を特定している。

申請書に添付する平面図に2以上の避難口を明示してください。

(4) 災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示する。

(B構造畜舎等の場合)

定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明する。

(5) 第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

定期的な消火作業に関する訓練を実施していること並びに火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

(1) 番号： 2

(2) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。

(B構造畜舎等の場合)

申請に係る畜舎等が規則第19条本文又は第20条ただし書の規定に適用を受ける畜舎等である場合に、文の内容を確認し、✓マークを記入してください。

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞 在 人 数	人	人	人	人
滞 在 時 間	時間／人	時間／人	時間／人	時間／人
延べ滞在時間	時間	時間	時間	時間
合 計	時間			

通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下とする。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

(3) 避難経路確保の取組

(A 構造畜舎等・B 構造畜舎等共通)

- 災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置しない。
- 2以上の避難口を特定している。

(4) 災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A 構造畜舎等・B 構造畜舎等共通)

- 様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示する。

(B 構造畜舎等の場合)

- 定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。
- 畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明する。

(5) 第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A 構造畜舎等・B 構造畜舎等共通)

- 定期的な消火作業に関する訓練を実施していること並びに火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

(1) 番号： 3

(2) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A 構造畜舎等・B 構造畜舎等共通)

- 午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。

(B 構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞在人数	0 人	0 人	0 人	2 人
滞在時間	0 時間/人	0 時間/人	0 時間/人	2 時間/人
延べ滞在時間	0 時間	0 時間	0 時間	4 時間
合計	4 時間			

- 通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下とする。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input checked="" type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

(3) 避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置しない。
- 2以上の避難口を特定している。

(4) 災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示する。

(B構造畜舎等の場合)

- 定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。
- 畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明する。

(5) 第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 定期的な消火作業に関する訓練を実施していること並びに火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

6. 申請に係る畜舎等で行う畜産業の内容

(1) 番号： 1

乳用牛、肥育牛、繁殖牛、肥育豚、繁殖豚、採卵鶏、肉養鶏 等

(2) 家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300 頭

フリーストール、繋ぎ飼い、ケージ飼い、平飼い 等

(3) 飼養形態（飼養施設の場合）： フリーストール

(4) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

堆肥化、乾燥、炭化・焼却、液肥化、メタン発酵、汚水浄化 等

(1) 番号： 2

(2) 家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300 頭

(3) 飼養形態（飼養施設の場合）：

(4) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

(1) 番号： 3

(2) 家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300 頭

(3) 飼養形態（飼養施設の場合）：

(4) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

7. 工事の着手及び完了の予定年月日

(1) 工事種類

・番号： 1

新築 増築 改築 柱を撤去する行為 模様替

(2) 工事着手予定年月日： 令和4年6月1日

(3) 工事完了予定年月日： 令和4年12月1日

(1) 工事種類

・番号： 2

新築 増築 改築 柱を撤去する行為 模様替

(2) 工事着手予定年月日： 令和4年6月1日

(3) 工事完了予定年月日： 令和4年12月1日

(1) 工事種類

・番号： 3

新築 増築 改築 柱を撤去する行為

(2) 工事着手予定年月日： 令和4年6月1日

(3) 工事完了予定年月日： 令和4年12月1日

8. その他必要な事項

(1) 法令遵守に関する事項

①申請者（法人にあっては、その役員）の家畜の飼養管理に関する法令の遵守状況

家畜の飼養管理又はその排せつ物の管理に関する法律（家畜の飼養管理に関する法律第166号）、家畜排せつ物の管理の適正化に関する法律（平成11年法律第112号）その他家畜の飼養管理若しくは排せつ物の管理に関する法律又はこれらの法律に基づく命令若しくは条例の規定に違反している場合）違反している規定：

農場名及びその所在地：

備考：

申請に関する法令の遵守状況

申請に係る畜舎等の建築等によって、申請者が所有する当該畜舎等以外の建築物及びその敷地が畜舎等の建築等に関する法令の規定に違反している場合）違反している規定：

農場名及びその所在地：

備考：

(2) 畜舎等の貸付けを行う場合

①借主の氏名又は名称及び法人にあっては、その役員名

②住所：

③借主（法人にあっては、その役員）の家畜の飼養管理又はその排せつ物の管理に関する法令の遵守状況

家畜の飼養管理又はその排せつ物の管理について、家畜伝染病予防法、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律その他家畜の飼養管理若しくはその排せつ物の管理に関する法律又はこれらの法律に基づく命令若しくは条例の規定に違反していない。

（違反している場合）違反している規定：

農場名及びその所在地：

備考：

以下の法律又はこれらの法律に基づく命令若しくは条例の規定に違反している場合は、違反している法律の規定、違反している農場名及びその所在地を具体的に記載してください。

また法人であってその役員が違反している場合は、違反している者の氏名を備考欄に記載してください。

- ・家畜伝染病予防法
- ・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・水質汚濁防止法
- ・悪臭防止法
- ・瀬戸内海環境保全特別措置法
- ・湖沼水質保全特別措置法

※堆肥舎のみの申請の場合は記載不要です。

畜舎等の貸付けを行う場合に記載してください。

所有する他の建築物が建築基準法等の規定に違反することとなっていないか、よく確認したうえで✓マークを記入してください。

特例畜舎等（床面積が3,000㎡以下の畜舎等）が規則第48条第2項の規定の適用を受ける場合に、文の内容を確認し、✓マークを記入してください。

(3) 特例畜舎等が第48条第2項の規定の適用を受ける場合

第48条第2項の規定による都道府県知事の認定を受けたものである。

9. 備考

(注意)

- ① 数字は算用数字を、単位はメー
- ② □がある場合は、該当する□は
- ③ 2.(1)②及び③並びに(3)、4.(2)、5.、6.並びに7.(1)は、申請に係る畜舎等ごとに記入すること。申請に係る畜舎等の数が1の時は「番号」に「1」と記入し、畜舎等の数が2以上のときは、畜舎等ごとに通し番号を付したうえで、記入欄を追加して畜舎等ごとに記入するか、第2番目以降の畜舎等について別紙に必要な事項を記入して添えること。
- ④ 4.(3)は申請に係る畜舎等(独立部分が2以上ある場合においては独立部分。以下同じ。)ごとに記入すること。申請に係る畜舎等の数が1の時は「番号」に「1」と記入し、畜舎等の数が2以上のときは、畜舎等ごとに通し番号を付したうえで、記入欄を追加して畜舎等ごとに記入するか、第2番目以降の畜舎等について別紙に必要な事項を記入して添えること。

7(1)「工事種類」で「模様替」に✓マークを記入した場合は、模様替によってどのように作業の能率の向上が行われるかについて、9に記載するか、別紙に記載して添えてください。

様式第五号（第七十二条関係）

例1：様式第2号（畜舎建築利用計画）の
番号1の畜舎の床面積の増加
例2：番号4の堆肥舎の新築の場合の例

畜舎建築利用計画の変更認定申請書

令和4年9月1日

都道府県知事 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
申請者の連絡先

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

申請者の氏名

変更前と変更後の内容を比較可能な形式で記載してください。変更箇所が多く、記載欄に記入しきれない場合は、「別紙に記載」と記載し、変更前と変更後の内容を記載した別紙とあわせて提出してください。変更後と変更前の畜舎建築利用計画の変更部分に色を付ける・枠囲みにする・下線を付すなどして、変更部分が分かるよう資料を作成してください。

第4条第1項の規定により、畜舎建築利用計画書に記載の事項は、事実と相違ありません。

申請書番号：第〇〇〇号（令和4年5月1日）

2. 申請に係る畜舎等の工事施工地又は所在地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

例1：様式第2号（畜舎建築利用計画）の番号1の畜舎の床面積の増加

3. 変更の概要：飼養施設の増築

変更前
2. 畜舎等の概要
（3）規模及び間取り
①番号：1
③床面積：（申請部分 <u>3,500m²</u> ）（申請以外の部分 <u>0m²</u> ）（合計 <u>3,500m²</u> ）
4. 畜舎等の敷地、構造及び設備に関する事項
（1）畜舎等及び畜舎等の敷地に関する事項
④建築面積
イ. 建築面積：（申請部分 <u>5,300m²</u> ）（申請以外の部分 <u>0m²</u> ）（合計 <u>5,300m²</u> ）
ロ. 建蔽率： <u>58.9%</u>

(3) 畜舎等の独立部分別概要

①番号： 1

③床面積： 3,500 m²

7. 工事の着手及び完了の予定年月日

(1) 工事種類

・番号： 1

新築 増築 改築 柱を撤去する行為 模様替

(2) 工事着手予定年月日： 令和4年6月1日

(3) 工事完了予定年月日： 令和4年12月1日

変更後

2. 畜舎等の概要

(3) 規模及び間取り

①番号： 1

③床面積：(申請部分 100m²) (申請以外の部分 3,500m²) (合計 3,600m²)

4. 畜舎等の敷地、構造及び設備に関する事項

(1) 畜舎等及び畜舎等の敷地に関する事項

④建築面積

イ. 建築面積：(申請部分 5,400m²) (申請以外の部分 m²) (合計 5,400m²)

ロ. 建蔽率：60%

(3) 畜舎等の独立部分別概要

①番号： 1

③床面積： 3,600 m²

7. 工事の着手及び完了の予定年月日

(1) 工事種類

・番号： 1

新築 増築 改築 柱を撤去する行為 模様替

(2) 工事着手予定年月日： 令和4年10月1日

(3) 工事完了予定年月日： 令和5年3月1日

4. 変更の理由：飼養頭数の増加に伴い、飼養施設の増築を行うため。

例2：番号4の堆肥舎の新築の場合の例

3. 変更の概要：堆肥舎の新築

変更前

2. 畜舎等の概要

(1) 数及び種類

①申請に係る畜舎等の数：3

4. 畜舎等の敷地、構造及び設備に関する事項

(1) 畜舎等及び畜舎等の敷地に関する事項

④建築面積

イ. 建築面積：(申請部分 5,300m²) (申請以外の部分 m²) (合計 5,300m²)

ロ. 建蔽率：58.9%

変更後

2. 畜舎等の概要

(1) 数及び種類

①申請に係る畜舎等の数：4

②申請に係る畜舎等の種類

・番号：4

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

③申請に係る畜舎等の構造

・番号：4

木造 一部 造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

①番号：4

②高さ：5 m

③床面積：(申請部分 100㎡) (申請以外の部分 ㎡) (合計 100㎡)

④間取り 居住のための居室を有しない。

4. 畜舎等の敷地、構造及び設備に関する事項

(1) 畜舎等及び畜舎等の敷地に関する事項

④建築面積

イ. 建築面積：(申請部分 5,400㎡) (申請以外の部分 ㎡) (合計 5,400㎡)

ロ. 建蔽率：60%

5. 畜舎等の利用の方法に関する事項

(1) 番号： 4

(2) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。

6. 申請に係る畜舎等で行う畜産業の内容

(1) 番号： 4

(2) 家畜の種類・頭数(堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数)

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300 頭

(3) 飼養形態(飼養施設の場合)：

(4) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

7. 工事の着手及び完了の予定年月日

(1) 工事種類

・番号： 4

新築 増築 改築 柱を撤去する行為 模様替

(2) 工事着手予定年月日： 令和4年10月1日

(3) 工事完了予定年月日： 令和5年3月1日

4. 変更の理由：堆肥舎の新築を行うため。

5. 第80条各号に定める基準の区分：

(注意)

- ① 3. 変更の概要については、変更前と変更後を対比して記載すること。
- ② 申請に係る畜舎等（特例畜舎等を除く。）が第80条の規定の適用を受ける場合にあっては、5. に、同条各号に定める基準のうち、該当する基準の号の数字及び「イ」、「ロ」又は「ハ」の別を記入すること。

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

添付図書として、認定を受けた畜舎建築利用計画の添付図書のうち変更に係るもの及び申請に係る認定畜舎等が別表第9の各項の（い）欄に掲げる認定畜舎等である場合には当該各項の（ろ）欄に掲げる図書を添えて、提出してください。

畜舎建築利用計画の軽微な変更に係る届出書

令和4年9月1日

都道府県知事 殿

届出者の住所又は
主たる事務所の所在地
届出者の氏名又は名称
届出者の連絡先
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第4条第2項の規定により、畜舎建築利用計画の軽微な変更について届け出ます。

記

変更前と変更後を対比して記載してください。記載欄に記載できない場合は、「別紙に記載」と記載し、別紙とあわせて提出してください。

届出番号及び認定年月日：第〇〇〇号（令和4年5月1日）

認定に係る畜舎等工事施工地又は所在地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

3. 変更の概要：搾乳施設の一日常たりの滞在者数及び滞在時間の変更（詳細は別紙に記載）
4. 変更の理由：機械の導入により労働力の削減に至ったため。

（備考）

- ① 3. 変更の概要については、変更前と変更後を対比して記載すること。
- ② 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(別紙)

変更前

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞在人数	<u>4</u> 人	4 人	0 人	3 人
滞在時間	<u>3</u> 時間/人	2 時間/人	0 時間/人	2 時間/人
延べ滞在時間	<u>12</u> 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合計	<u>26</u> 時間			

変更後

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞在人数	<u>1</u> 人	4 人	0 人	3 人
滞在時間	<u>2</u> 時間/人	2 時間/人	0 時間/人	2 時間/人
延べ滞在時間	<u>2</u> 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合計	<u>16</u> 時間			

認定畜舎等の建築等工事完了届

令和4年12月2日

都道府県知事 殿

届出者の住所又は
主たる事務所の所在地
届出者の氏名又は名称
届出者の連絡先
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

認定畜舎等の建築等の工事が完了しましたので、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第6条第1項の規定により、届け出ます。

記

- 畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第〇〇〇号（令和4年5月1日）
- 届出に係る工事の概要：
 - 工事施工地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号
 - 工事の種類
新築 増築 改築 柱を撤去する行為 模様替
 - 工事着手年月日：令和4年6月1日
 - 工事完了年月日：令和4年12月1日
- 届出に係る認定畜舎等の概要
 - 番号：1
 - 種類
飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎
 - 規模：床面積の合計 3,500 m²
 - 番号：2
 - 種類
飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎
 - 規模：床面積の合計 1,500 m²

- (1) 番号： 3
- (2) 種類
飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎
- (3) 規模：床面積の合計 300 m²

4. 備考

(注意)

- ① 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いること。
- ② がある場合は、該当するに✓印を付けること。
- ③ 3. は、届出に係る認定畜舎等ごとに記入すること。届出に係る認定畜舎等の数が1の時は「番号」に「1」と記入し、認定畜舎等の数が2以上のときは、認定畜舎等ごとに通し番号を付したうえで、記入欄を追加して認定畜舎等ごとに記入するか、第2番目以降の認定畜舎等について別紙に必要な事項を記入して添えること。
- ④ 床面積が3,000m²を超える認定畜舎等にあつては、第75条第1項第1号の規定により、屋根の小屋組の工事の終了時、構造耐力上主要な軸組又は耐力壁の工事の終了時、基礎の配筋（鉄筋コンクリート造の基礎の場合に限る。）の工事の終了時その他都道府県知事が必要と認めて指定する工程の終了時における当該認定畜舎等に係る構造耐力上主要な部分の軸組、仕口その他の接合部、鉄筋部分等の写真を添付すること。

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

床面積 3,000 m²超の認定畜舎等については、工事の各工程の写真を添付してください（注意④に記載の内容）。

仮使用認定申請書

令和4年11月1日

都道府県知事 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
申請者の連絡先
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第6条第2項ただし書の規定による仮使用の認定を申請します。

記

- 畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第〇〇〇号（令和4年5月1日）
- 認定畜舎等の建築等の工事の概要
 - 工事施工地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号
 - 工事着手年月日：令和4年6月1日
 - 工事完了予定年月日：令和4年12月1日
- 仮使用の概要
 - 仮使用期間：1か月間（令和4年11月1日～12月1日）
 - 申請の理由：令和4年11月1日から乳牛を搬入予定であるため。
- 備考

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

共管省令第76条第1項の表に規定する図書その他都道府県知事が必要と認める図書を添えて、提出してください。

認定計画実施者の相続届出書

令和4年12月15日

都道府県知事 殿

届出者の住所 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号
届出者の氏名 農水 次郎
届出者の連絡先 02-345-6789

下記のとおり、認定計画実施者の地位を承継したので、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第9条第2項の規定により届け出ます。

記

- 相続の開始の日：令和4年12月1日
- 相続人の氏名、住所及び連絡先並びに被相続人との続柄

氏名、住所及び連絡先	続柄
農水 次郎 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号 02-345-6789	子

- 被相続人の氏名及び死亡時の住所：農水 太郎
東京都千代田区霞が関1丁目2番1号
- 畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第〇〇〇号（令和4年5月1日）
- 認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

認定畜舎等の譲渡及び譲受け認可申請書

令和4年12月1日

都道府県知事 殿

譲渡人	住所又は主たる事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関 1丁目2番1号
	氏名又は名称	農水 太郎
	連絡先	01-234-5678
	代表者の氏名	
譲受人	住所又は主たる事務所の所在地	東京都千代田区霞が関 2丁目1番1号
	氏名又は名称	酪農 ハジメ
	連絡先	03-456-7890
	代表者の氏名	

下記のとおり、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第10条第1項の規定により、認定畜舎等の譲渡及び譲受けの認可を受けたいので申請します。

記

- 譲渡及び譲受けの予定年月日：令和5年1月1日
- 譲渡及び譲受けの理由：譲渡人の廃業に伴う畜舎の所有者の変更のため。
- 譲渡及び譲受けに係る畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第〇〇〇号
(令和4年5月1日)
- 譲渡及び譲受けに係る認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関1丁目2番1号
- 譲渡及び譲受けに係る認定畜舎等の利用の方法に関する事項
(1) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間
(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)
午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。
(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞 在 人 数	4 人	4 人	0 人	3 人
滞 在 時 間	3 時間／人	2 時間／人	0 時間／人	2 時間／人
延べ滞在時間	12 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合 計	26 時間			

通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下とする。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

(2) 避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置しない。

2以上の避難口を特定している。

(3) 災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示する。

(B構造畜舎等の場合)

定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明する。

(4) 第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

定期的な消火作業に関する訓練を実施していること並びに火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

6. 譲渡及び譲受けに係る認定畜舎等で行う畜産業の内容

(1) 家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300頭

(2) 飼養形態（飼養施設の場合）： フリーストール

(3) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

7. 譲受人（法人にあっては、その役員）の法令遵守状況

家畜の飼養管理又はその排せつ物の管理について、家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（平成11年法律第112号）その他家畜の飼養管理若しくはその排せつ物の管理に関する法律又はこれらの法律に基づく命令若しくは条例の規定に違反していない。

（違反している場合）違反している規定：

農場名及びその所在地：

備考：

（注意）

□がある場合は、該当する□に✓印を付けること。

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

合併認可申請書

令和4年12月1日

都道府県知事 殿

住所又は主たる事務所の所在地
東京都千代田区霞が関
3丁目1番1号
合併する法人の名称
第一ファーム
代表者の氏名
養鶏 ヨシコ
連絡先
04-567-8901

住所又は主たる事務所の所在地
東京都千代田区霞が関
4丁目1番1号
合併する法人の名称
第二ファーム
代表者の氏名
採卵 タマヨ
連絡先
05-678-9012

下記のとおり、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第10条第2項の規定により、法人の合併について認可を受けたいので申請します。

記

- 合併予定年月日：令和5年1月1日
- 合併後存続する法人又は合併により設立される法人の名称及び住所：
第一ファーム（東京都千代田区霞が関3丁目1番1号）
- 合併の理由：生産基盤の強化に向けた業務の統合のため。
- 合併に係る畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第△△△号（令和4年6月1日）
- 合併に係る認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関3丁目1番1号
- 合併に係る認定畜舎等の利用の方法に関する事項
(1) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。

(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞 在 人 数	4 人	4 人	0 人	3 人
滞 在 時 間	3 時間／人	2 時間／人	0 時間／人	2 時間／人
延べ滞在時間	12 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合 計	26 時間			

- 通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下とする。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

(2) 避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置しない。
- 2以上の避難口を特定している。

(3) 災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示する。

(B構造畜舎等の場合)

- 定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。
- 畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明する。

(4) 第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 定期的な消火作業に関する訓練を実施していること並びに火を使用する設備又は

その使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を
存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

7. 合併に係る認定畜舎等で行う畜産業の内容

(1) 家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300頭

(2) 飼養形態（飼養施設の場合）： フリーストール

(3) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

8. 合併後存続する法人又は合併により設立される法人の役員の法令遵守状況

家畜の飼養管理又はその排せつ物の管理について、家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（平成11年法律第112号）その他家畜の飼養管理若しくはその排せつ物の管理に関する法律又はこれらの法律に基づく命令若しくは条例の規定に違反していない。

（違反している場合）違反している規定：

農場名及びその所在地：

備考：

（注意）

□がある場合は、該当する□に✓印を付けること。

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。

分割認可申請書

令和4年12月1日

都道府県知事 殿

住所又は
主たる事務所の所在地
分割する法人の名称
代表者の氏名
連絡先
東京都千代田区霞ヶ関
3丁目1番1号
第一ファーム
養鶏 ヨシコ
04-567-8901

下記のとおり、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第10条第3項の規定により、法人の分割について認可を受けたいので申請します。

記

- 分割予定年月日：令和5年1月1日
- 分割により認定畜舎等を承継する法人の名称及び住所：
第二ファーム（東京都千代田区霞が関4丁目1番1号）
- 分割の理由：
6次産業化の取組開始による事業の分化のため。
- 分割に係る畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第△△△号（令和4年6月1日）
- 分割に係る認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関1丁目2番1号
- 分割に係る認定畜舎等の利用の方法に関する事項
(1) 畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間
(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)
 午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零とする。

(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞 在 人 数	4 人	4 人	0 人	3 人
滞 在 時 間	3 時間／人	2 時間／人	0 時間／人	2 時間／人
延べ滞在時間	12 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合 計	26 時間			

通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下とする。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

(2) 避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置しない。

2以上の避難口を特定している。

(3) 災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示する。

(B構造畜舎等の場合)

定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明する。

(4) 第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

定期的な消火作業に関する訓練を実施していること並びに火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存する。

7. 分割に係る認定畜舎等で行う畜産業の内容

(1) 家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

①家畜の種類： 乳用牛

②頭数： 300頭

(2) 飼養形態（飼養施設の場合）： フリーストール

(3) 家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

8. 分割により認定畜舎等を承継する法人の役員の法令遵守状況

家畜の飼養管理又はその排せつ物の管理について、家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（平成11年法律第112号）その他家畜の飼養管理若しくはその排せつ物の管理に関する法律又はこれらの法律に基づく命令若しくは条例の規定に違反していない。

（違反している場合）違反している規定：

農場名及びその所在地：

備考：

（注意）

□がある場合は、該当する□に✓印を付けること。

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

解散届出書

令和5年2月15日

都道府県知事 殿

届出者の住所 東京都千代田区霞が関3丁目1番1号
届出者の氏名 養鶏 ヨシコ
届出者の連絡先 04-567-8901

下記のとおり、認定計画実施者である法人が合併以外の事由により解散したので、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第11条第1項の規定により、届け出ます。

記

- 解散年月日：令和5年2月1日
- 解散した法人の名称及び住所：第一ファーム（東京都千代田区霞が関3丁目1番1号）
- 解散した法人に係る畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第△△△号
(令和4年6月1日)
- 解散した法人に係る認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第十七号（第九十一条関係）

認定畜舎等の利用状況定期報告書

令和9年6月1日

都道府県知事 殿

報告者の住所又は
主たる事務所の所在地
報告者の氏名又は名称
報告者の連絡先
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

下記のとおり、認定畜舎等の利用の状況について、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第13条第1項の規定により、報告します。

記

1. 畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：第〇〇〇号（令和4年6月1日）

2. 認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

3. 認定畜舎等の概要

(1) 番号： 1

(2) 種類

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

(3) 構造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

(1) 番号： 2

(2) 種類

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

(3) 構造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

(1) 番号： 3

(2) 種類

飼養施設 搾乳施設 集乳施設 堆肥舎

(3) 構造

A構造畜舎等 B構造畜舎等

4. 利用の状況

(1) 番号： 1

(2) 認定畜舎等における畜産業の内容

①家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

イ. 家畜の種類： 乳用牛

ロ. 頭数： 300頭

②飼養形態： フリーストール

③家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

(3) 利用基準の遵守状況

①畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零としている。

(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞在人数	4 人	4 人	0 人	3 人
滞在時間	3 時間/人	2 時間/人	0 時間/人	2 時間/人
延べ滞在時間	12 時間	8 時間	0 時間	6 時間
合計	26 時間			

通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下としている。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

②避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

災害時の避難に支障を生じさせないよう、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置していない。

2以上の避難口を特定している。

③災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示している。

(B構造畜舎等の場合)

定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明している。

④第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

定期的な消火作業に関する訓練を実施していることに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

⑤備考

(1) 番号： 2

(2) 認定畜舎等における畜産業の内容

①家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

イ. 家畜の種類： 乳用牛

ロ. 頭数： 300頭

②飼養形態：

③家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

(3) 利用基準の遵守状況

①畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零としている。

(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞 在 人 数	人	人	人	人
滞 在 時 間	時間／人	時間／人	時間／人	時間／人
延べ滞在時間	時間	時間	時間	時間
合 計	時間			

- 通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下としている。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

②避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を存置していない。
- 2以上の避難口を特定している。

③災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示している。

(B構造畜舎等の場合)

- 定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。
- 畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明している。

④第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

- 定期的な消火作業に関する訓練を実施していることに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。
- 火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一

年間保存している。

⑤備考

(1) 番号： 3

(2) 認定畜舎等における畜産業の内容

①家畜の種類・頭数（堆肥舎の場合は排せつ物を処理する家畜の種類・頭数）

イ. 家畜の種類： 乳用牛

ロ. 頭数： 300頭

②飼養形態：

③家畜排せつ物の処理方法： 堆肥化

(3) 利用基準の遵守状況

①畜舎等の1日当たりの滞在者数及び滞在時間

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

午前零時から午前四時まで及び午後十時から午後十二時までの間、やむを得ない場合を除き、畜舎等で睡眠する者の数を零としている。

(B構造畜舎等の場合)

	家畜排せつ物の搬出及び畜舎等の清掃	飼料の調理・給与及び家畜の観察	搾乳（畜舎内搾乳）	その他畜舎等内における作業（診療、種付け等）
滞在人数	0人	0人	0人	2人
滞在時間	0時間/人	0時間/人	0時間/人	2時間/人
延べ滞在時間	0時間	0時間	0時間	4時間
合計				4時間

通常時において、畜舎等における1日当たりの最大滞在者数及び延べ滞在時間を次の数値以下としている。

畜舎等の床面積	最大滞在者数	延べ滞在時間
<input checked="" type="checkbox"/> 1,000㎡以下	4人	8時間
<input type="checkbox"/> 1,000㎡超2,000㎡以下	8人	16時間
<input type="checkbox"/> 2,000㎡超3,000㎡以下	12人	24時間
<input type="checkbox"/> 3,000㎡超	16人	32時間

②避難経路確保の取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

災害時の避難に支障を生じさせないように、避難経路上に当該経路をふさぐ物品を

存置していない。

2以上の避難口を特定している。

③災害による被害の防止又は軽減に資する取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

様式第1号を畜舎等の見やすい場所に表示している。

(B構造畜舎等の場合)

定期的な避難訓練の実施に関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

畜舎等に立ち入る者に対し、災害時の避難方法に関する事項を説明している。

④第19条本文又は第20条ただし書の規定の適用を受ける畜舎等における取組

(A構造畜舎等・B構造畜舎等共通)

定期的な消火作業に関する訓練を実施していることに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の周辺及び渡り廊下に可燃物を存置していないことに関する記録を作成し、少なくとも一年間保存している。

⑤備考

(注意)

① がある場合は、該当するに✓印を付けること。

② 3. 及び4. は報告に係る認定畜舎等ごとに記入すること。報告に係る認定畜舎等の数が1の時は「番号」に「1」と記入し、認定畜舎等の数が2以上のときは、認定畜舎等ごとに通し番号を付したうえで、記入欄を追加して認定畜舎等ごとに記入するか、第2番目以降の認定畜舎等について別紙に必要な事項を記入して添えること。

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

認定畜舎等の滅失届出書

令和10年4月1日

都道府県知事 殿

届出者の住所又は
主たる事務所の所在地
届出者の氏名又は名称
届出者の連絡先
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関
1丁目2番1号
農水 太郎
01-234-5678

下記のとおり、認定畜舎等が滅失したので、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律第13条第2項の規定により、届け出ます。

記

- 滅失した認定畜舎等に係る畜舎建築利用計画の認定番号及び認定年月日：
第〇〇〇号（令和4年5月1日）
- 滅失した認定畜舎等の所在地：東京都千代田区霞が関1丁目1番1号
- 滅失の理由：認定畜舎等の老朽化により除却したため。

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。